

教育要項（抜粋）

2020年度

学校法人 医療創生大学
千葉・柏リハビリテーション学院
Chiba Kashiwa Rehabilitation College

I.千葉・柏リハビリテーション学院の教育理念

葵会グループの「治す」と「防ぐ」を高いレベルで両立する進化した医療を提供することを踏まえ「健康でかけがえのないその人らしい人生を尊重する」ことを教育理念とした教育を実践する。「その人らしい人生」とは、その人の人格を尊重することのみならず、唯一無二のかけがえのない健康な人生そのものを尊重することである。

葵会グループの理念に基づいた教育を実践するとは、理学療法、作業療法に必要な知識・技術・態度を修得し、他者に対する暖かいまなざしを持ち「ケアリング」と「コーチング」を追求する高い倫理観を持った専門医療技術者を育てることである。さらに、理学療法士・作業療法士という職業を通して、学修者の「アイデンティティ」形成が深められ、それが職業観に結びつくような教育を実践することである。

II. 教育目的・教育目標

教育目的

科学的根拠に基づき、主体的に考え、実践できる専門医療技術者の育成のために、理学療法・作業療法に関する理論および技術を教授する。そして、専門医療技術者としての誇りと自覚を持ち、葵会グループ・地域社会に広く貢献できる専門技術者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊厳を基盤とし、理学療法・作業療法の対象を身体的・精神的・社会的な側面を持つ統合体としての人間を幅広く理解する能力を養う。
2. 対象の能力障害を科学的根拠に基づいて判断し 理学療法・作業療法を実践できる能力を養う。
3. 自己洞察ができ、他者に対し、深い愛情とケアリングができる人間関係を営む能力を養う。
4. 進展する医療や社会のニーズに対応した臨臨床的観察力・分析力を活用し、治療計画立案能力を養う。
5. 保健・医療・福祉チームの一員として、理学療法・作業療法の役割と責任を果たし、他職種と協同・調整する能力を養う。
6. 専門医療技術者を目指し、倫理観を培うとともに自己教育力を養う。

Ⅲ.学科別教育目的・教育目標

作業療法学科 教育目的・目標

人の作業的公正を促す作業療法士として、対象者を中心とし、科学的根拠にもとづく作業療法を実践することができる。主体的に自己涵養を行い、地域における作業療法の役割を遂行できる人材を育成する。

このために教職員は最新の知識と技術について学生に伝達するとともに柔軟な教育方法のもとに、日本作業療法協会の定める卒前教育における到達目標「自ら学ぶ力を育て、作業療法の基本的な知識と技能を修得する」ことに加え、全人間的な教育を行うことにより地域社会に貢献することのできる作業療法士を育成することとする。

1. 基本的知識の習得
国家試験に必要な医学的な基礎知識、関連領域の基礎知識を習得する
2. 人間を総合的に把握できる
障害に有無にかかわらず、人の作業的側面及び全人間的に把握できるようにする
3. 作業療法実践に関して科学的根拠に基づく判断を行い、実践できる
科学的根拠について探求し、対象者に合わせたリーズニングを実践できる
4. 作業療法における therapeutic use of self のために、自己を洞察し、ケアリングできる
自己の洞察を行い、therapeutic use of self に基づくケアリングができるよう自己と他者について学ぶ
5. 作業療法実践に必要な臨床的観察、分析を社会のニーズに合わせて実践できる
臨床において必要な観察力を身に付け、対象者の作業状態を分析する能力を養う
6. 多職種協働のためのチーム運営、実践能力を養う
多職種協働のため、多職種について理解するとともに作業療法について説明できる
7. 専門医療技術者を目指し、倫理観を培うとともに自己教育力を養う
臨床における自己教育実践のために必要な学習方法について身に着ける